

も り

森林のたより

**下刈及びシカ柵等のコスト低減に向けた
現地検討会を開催しました。**



低コスト化の概要を聞く参加者

10月12日（木）に山北町世附国有林内において、当署主催の下刈及びシカ柵等のコスト低減に向けた現地検討会を開催しました。

この現地検討会は、林業の成長産業化に向け、初期保育におけるコストの低減を目指し、神奈川県や市町村職員、林業事業者、近隣の森林管理署職員等が一堂に会し実施しました。

当日は、118名の参加者があり、活発な意見交換が行われました。



斜め張りシカ柵の概要を聞く参加者

開催にあたり、当署署長より「林業の成長産業化のためには、保育費用のコスト低減が不可欠。これらが実現できれば、民有林でも積極的な林業経営が行われる」と挨拶がありました。

また、関東森林管理局森林整備課より「保育費用の7割は下刈までが占めているので、これを圧縮できれば全体のコスト低減に繋がる」と説明がありました。

その後、参加者は2つの区域に分かれ、下刈を1回省略した箇所での苗木の生長状況やシカ柵の設置状況について、それぞれの違いなどを熱心に確認していました。最後の意見交換会では、苗木の植栽密度やシカ柵の施工方法について意見が出され、参加者全体で考え方等の共有が行われ、終了となりました。

造林事業の低コスト化は、まだ始まったばかりで、今後も様々な意見を取り入れながら、検討を進めていきたいと考えています。(＠へっ)



下刈省力化による苗木の状況を確認する参加者

